

鉄道構造物等設計標準・同解説（耐震設計）（H24年9月）、（コンクリート構造物）（H16年4月）、（鋼・合成構造物）（H21年7月）、（鋼とコンクリートの複合構造物）（H28年1月）、（基礎構造物）（H24年1月）、（土留め構造物）（H24年1月）に準拠

# Output-JR

## 照査・検索・整理ツール(Ver.5.1)

### 【特徴・用途】

本ツールは JRSNAP のオプションとして、JRSNAP の解析により算定された、上部や基礎構造物の応答値に対して、各種の照査指標を設定し、要求性能に基づいた照査を行うことができます。また、入力データの確認や全計算過程における解析や照査の任意結果を効率良く検索・整理することができます。詳細は「JRSNAP とオプションの更新一覧」をご覧ください。

The screenshot displays the Output-JR software interface with several key windows highlighted:

- 静的非線形解析プログラム JRSNAP**: Main analysis program.
- 開閉トンネル JRBOX 設計プログラム**: Tunnel design program.
- 鋼管矢張基礎 JRKK 設計プログラム**: Steel pipe pile foundation design program.
- 杭土構造物 JREP 設計プログラム**: Pier and soil structure design program.
- ケーソン基礎 JRCS 設計プログラム**: Caisson foundation design program.
- Input-JR, Output-JR, Soil-JR, ReDisp-JR**: Core modules.
- LiJudge-JR, JRElastic, VePP-RC**: Additional analysis modules.
- RC標準 開閉トンネル標準 耐震標準 基礎標準 鋼標準**: Design standards.
- 基礎照査(Soil-JR と連携の場合)**: Foundation inspection window showing design and horizontal level positions.
- 帳票出力設定**: Report output settings window with options for file names, page numbers, and data lists.
- 入力データ確認図**: Input data confirmation window showing cross-sections and material distribution.
- 全計算過程の部材の破壊形態確認、せん断照査、曲げ照査を自動的に行えます。**: A text box indicating that the software can automatically check for member failure modes, shear, and bending.

### 【動作環境】

- ① O S : Windows8.1®、Windows10®(タブレットモードを除く)
- ② C P U : 1 ギガヘルツ (GHz) 以上のプロセッサ(2.0GHz 以上を推奨します)
- ③ メモリ : 1 ギガバイト (GB) 以上 (2.0GB 以上を推奨します)
- ④ プリンター : OS の動作環境に対応した機種
- ⑤ そ の 他 : インターネットへ接続できる事(ライセンス認証用)

●開発：公益財団法人鉄道総合技術研究所

●発行：(株)ジェイアール総研エンジニアリング(ソフト販売窓口)

〒186-0002 東京都国立市東1-4-13 COI 国立ビル

TEL 042-575-3821 E-mail [support\\_sale@jrseg.co.jp](mailto:support_sale@jrseg.co.jp) URL <http://www.jrseg.co.jp/>